

長崎労働局発表

平成26年6月19日（木）

長崎労働局 健康安全課

健康安全課長 池田 康廣

主任産業安全専門官 森 勝弘

電話 095-801-0032（直通）

全国安全週間に「三菱重工業(株)長崎造船所」において、

長崎労働局長が労働災害防止に関するメッセージを発信します！

本年度の全国安全週間は、

『みんなでつなぎ 高まる意識 達成しようゼロ災害』

をスローガンとして、7月1日から7月7日まで実施されますが、長崎労働局（局長：小鹿昌也）では、同週間中（7月1日午前8時より）に局長が三菱重工業(株)長崎造船所の安全大会に参加し、労働災害防止に関するメッセージの発信を別紙のとおり行います。

造船業は長崎県の基幹産業であり、三菱重工業(株)長崎造船所は、長崎県民が注目する客船の建造などを行っている造船業のリーディングカンパニーであります。

また、当造船所内では、協力会社の作業員を含め多くの労働者が混在し、異なる作業が輻輳して進められていることで、時として危険も介在し、一度災害が発生すれば重篤な災害にも繋がりがねないことから、ここで働く労働者一人一人の安全意識を高めることは造船業に係る労働災害防止の徹底を図る上で大変重要であります。

よって、この度、局長自ら労働災害防止に係るメッセージを発信し、広報することで、造船事業に携わる多くの労働者はもちろん、長崎県下各産業に従事する労働者に対し、更なる労働災害防止とその気運の醸成を図ることが期待されます。

この全国安全週間を契機として、労働災害防止の重要性について認識をさらに深め、安全活動の着実な実行を図ることが県内でも望まれます。

長崎労働局長による労働災害防止に関するメッセージ発信について

1 実施日等

7月1日(火)午前8時00分から(終了予定午前8時30分頃)

・安全大会終了後、長崎労働局長が現場にて、取材をお受けします。

※ 雨天決行としますが、大雨洪水警報など、現場の作業中止基準に該当する場合は、中止することもあります。

2 場所

- | | |
|----------|--------------------|
| (1) 事業場名 | 三菱重工業(株)長崎造船所 立神工場 |
| (2) 住 所 | 長崎市飽の浦町1番1号 |
| (3) 朝礼場所 | ルネサンス広場 |

3 実施者(合計5名)

長崎労働局：長崎労働局長(小鹿 昌也)
健康安全課長(池田 康廣)
主任安全専門官(森 勝弘)
健康安全主任(銀杏田 裕、松尾 拓也)

4 取材される方への注意事項

① 当日の取材について

取材同行を希望される報道機関の方は、入構許可など準備の都合等がございますので、6月26日午前中までに長崎労働局健康安全課(TEL095-801-0032)「課長 池田」又は「主任専門官 森」まで、会社名と予定人数をお知らせください。

② 当日の集合場所及び集合時間について

- ・ 三菱重工業(株)長崎造船所 立神工場 立神門(別添、地図参照)
- ・ 午前7時45分までに上記立神門へ集合してください。集合時間に遅れた場合はご案内いたしかねますので、ご注意ください。

③ 服装について

造船所内は保護帽(ヘルメット)着用が原則です。来客用のヘルメットを準備しますが、数に限りがありますので、できるだけご持参ください。

また、取材場所は工場内となりますので、安全のため女性の方はスカート及びヒールの高い靴やつま先の開いた(オープントゥ)の靴などはご遠慮ください。

④ 立ち入り及び撮影について

指定区域以外の立ち入り及び撮影はできませんので、あらかじめご了承ください。また、当日は三菱重工業(株)長崎造船所担当者の指示に従ってください。

⑤ その他について

- ・ 立神門付近には駐車場がございませんのでタクシー又はバス(立神バス停より徒歩1分)をご利用ください。
- ・ 当日取材される方は自社の腕章を必ずご着用ください。

長崎県の労働災害発生の状況について

① 平成25年の長崎県内の労働災害（休業4日以上）は、1,367件となり、過去最少を記録しました。

しかし、死亡災害は、前年より7件増加し17件となりました。

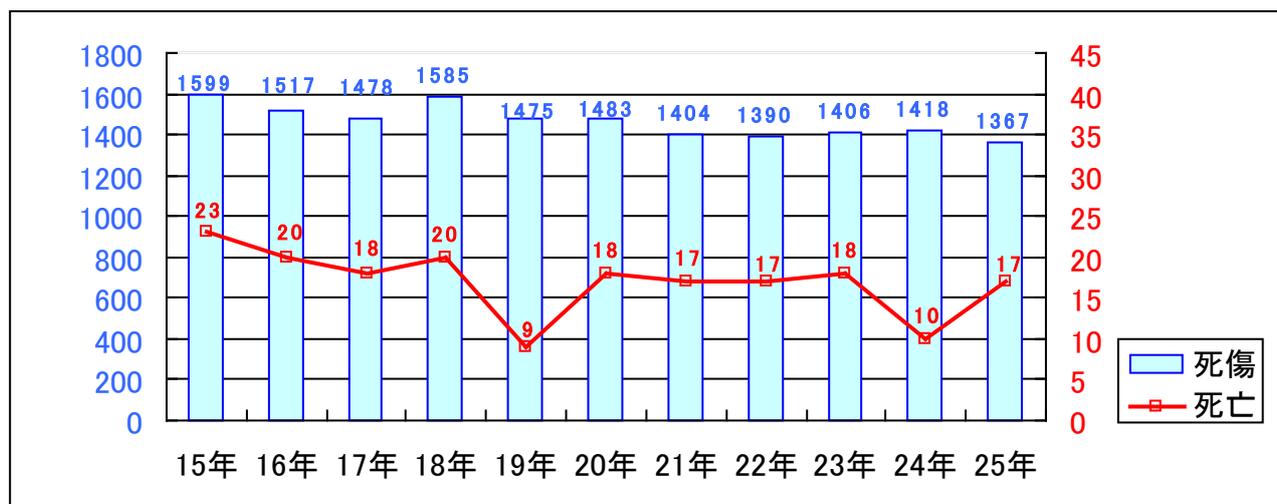
平成25年に発生した死亡災害17件の内訳をみると、建設業が6件、製造業が2件、商業が2件、接客娯楽業が2件、運輸交通業が1件、農林業が1件、水産業が1件、清掃・と畜業が1件、その他事業が1件となっています。

② 本年の5月末の死傷災害（休業4日以上）の発生状況は、前年同期と比べて78件増加（18.4%増）しており、死亡災害にあつては、既に4件（昨年同期は5件）発生しています。

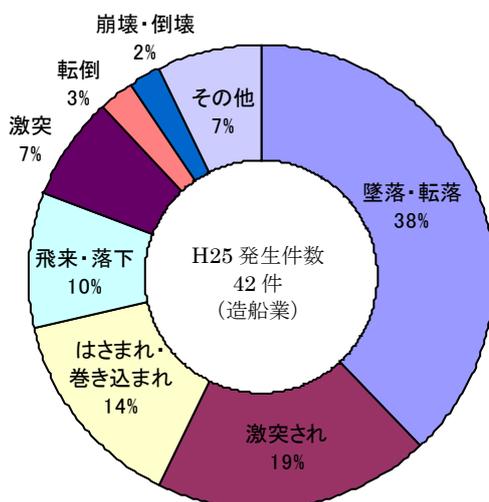
③ 造船業において、本年5月末現在の労働災害発生件数は、14件と昨年同期と比べて5件減少し、死亡災害は発生していません。

平成25年の造船業における労働災害（42件）を分析しますと、建築物や足場などからの「墜落・転落」によるものが16件（38%）と最も多く、次いで機械工具や材料などに「激突される」災害が8件（19%）となっています。また、動力機械などに「はさまれ・巻き込まれる」災害も6件（14%）と多発しています。

長崎県内における労働災害発生件数の推移（全産業）



H25事故の型別労働災害発生状況(造船業)



長崎労働局の労働災害防止に対する取り組み

1 第12次労働災害防止計画の策定

誰もが安心して健康に働くことができる社会を実現するため、長崎労働局では、第12次となる「労働災害防止計画」（平成25年度～29年度の5カ年計画。以下、「12次防」という。）を策定し、平成25年度からこれを推進しています。

12次防では、重篤度の高い労働災害の減少を優先課題として掲げ、死亡者数にかかる全体目標を全計画期間（80人）より15%以上、具体的には、平成25年から29年までの間の死亡者数を68人以下とする数値目標のもと、各種対策に取り組んでいます。

2 死亡労働災害撲滅運動

県内の死亡労働災害は、ここ10年、高止まりで推移し、平成25年も17人の尊い命が労働の場で失われました。

長崎労働局では、死亡労働災害の撲滅を期し、平成26年2月1日から4月末日まで「死亡労働災害撲滅運動」を展開しました。

産業労働の場で生命が脅かされたり、健康が損なわれることは、あってはなりません。長崎労働局としては、全ての関係者が、この意識を共有し、安全や健康のためのコストは必要不可欠であることを正しく理解し、それぞれが責任ある行動をとることにより、「誰もが安心して健康に働くことができる社会」を目指すとともに、「死亡労働災害は絶対に起こさない」との強い決意をもって、長崎県下における死亡労働災害の撲滅を目指すため、「死亡労働災害撲滅宣言」のもと、県内の労働災害防止団体や公共工事発注機関（地方自治体）等へ協力を求め、当該内容を記したパンフレットや労働局ホームページ等を活用し周知啓発に努め、また、各事業場に対しては、労働災害防止のための総点検を実施し、或いは、各級管理者による安全宣言を実施するなど創意工夫を凝らした取組を行うとともに、時節に対応した重点施策を実施して本運動を展開するよう協力を依頼しました。

3 全国安全週間

全国安全週間は、昭和3年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という基本理念の下、「産業界における自主的な労働災害防止活動を推進するとともに、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に続けられているもので、本年で87回目を迎えます。

平成26年7月1日から7月7日が本週間、平成26年6月1日から6月30日までが準備期間となります。

平成26年度の全国安全週間のスローガンは、

『みんなでつなぎ 高まる意識 達成しようゼロ災害』

として全国で展開されています。

【全国安全週間中の長崎労働局の取組】

①長崎労働局長による労働災害防止に関するメッセージの発信

本件、リリース文のとおりです。

②建設工事関係者連絡会議の開催（平成26年6月27日（金）実施）

建設工事における労働災害の一層の減少を図るため、工事発注者、施工者及び行政関係者と情報交換などを行います。